

歴史の散歩道

(53)

伊波の白山神社と 平泉寺白山神社の今宮

伊波の白山神社は風格ある神社で、鳥居には「白山一の宮」の額がかかげられています。中世には「佐羅堂」とも「皿宮」ともよばれた古い社です。今も皿川という地名や、由緒ある皿沢という姓は古い歴史をうかがわせま

す。賢聖院の充海が著したとされる『靈応山平泉寺大縁起』によれば、佐羅堂は、白山神の御旅所で、祭神は佐羅早松大明神です。毎年四月一日に、平泉寺白山社の白山神を神輿に移し、一山の千人あまりの僧侶が行列をつくつて、神輿を供奉して佐羅堂に移しました。二日には八乙女とよばれる少女が神楽を奉納し、三日には僧侶全員が法楽を勤めました。法楽とはお経を声をあけて読んだり、田楽を舞ったり、連歌や和歌を詠んで神をたのしませることです。四日は佐羅河(皿川)で神輿を洗い、五日の黄昏時に平泉寺白山社にかえりました。白山神の供え物には服紗をかけた御膳をそなえました。行き帰りの豪華絢爛たる行列は人々をおどろかし、老いも若きも白山神への信仰を深くさせました。

江戸時代になるとこの行事は無くなりましたが、玄成院の住職になる僧侶が初めて入院する時は、必ずこの佐羅堂に参詣しました。

さて、平泉寺では白山神社の境内社の一つとなっている今宮の祭神が佐羅王子であり、伊波の佐羅堂と関係がありました。中世の平泉寺では今宮は「三ノ宮」と並び、重要な堂社であり、「白山社の菜」の中宮古図では、春日明神・蔵王権現の摂社、拝殿・今宮塔・鐘楼・薬師堂がありました。このことは平泉寺でも大きな勢力を有していたことを示しています。

なお、石川県の加賀禅定道では、白山市の手取川流域の佐良集落に佐羅早松神社があり、白山権現七社の一つとされています。

勝山市文化財保護委員 佐野光臣氏



伊波の白山神社



編集後記

新緑が映える爽やかな季節を迎えました。苗の緑が初夏に色どりを添え、田んぼの水面を吹き渡る風が涼感をもたらしてくれます。この身近な自然から生まれる季節感に住み慣れた故郷だからこそ、よりいっそう心にしみるのかもしれませんが。福祉健康センター「すこやか」がオープンしました。市民の福祉と健康づくりの拠点として、また憩いの場としても活用され、市民に親しまれる施設になればと思います。今月号の表紙から「産業遺産」と織り交ぜながら「勝山花物語事業」にちなんで、勝山の美しい花も紹介していきます。



休日・祝日救急当番医

診療時間 A 09:00 ~ PM5:00

5/22 (日)	小林眼科 87-7888
5/29 (日)	たけとう病院 88-6464
6/5 (日)	竹下中央内科医院 88-1121
6/12 (日)	武藤外科医院 88-0266
☎ 消防署(88-0400)	



交通事故発生状況

高齢者 = 65歳以上

件数内訳	平成17年4月末	前年比
総件数	186件	- 8
人身事故 (うち高齢者)	25件 (4)	- 19 (- 9)
死者 (うち高齢者)	2人 (1)	+ 1 (+ 1)
傷者	38人	- 22
物損事故	161件	+ 11



5月の納税

軽自動車税 全期
納期限 5月31日(火)
口座振替日 5月26日(木)



人口の動き

	3月末現在	自然動態		社会動態		4月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	13,352人	8	- 13	31	- 39	13,339人	- 13
女	14,620人	6	- 10	36	- 35	14,617人	- 3
合計	27,972人	14	- 23	67	- 74	27,956人	- 16
世帯数	8,119世帯					8,129世帯	10

毎月第3日曜は

家庭の日

野や山に出かけ 美しい自然に親しもう



火災発生

88-5100(テープ吹き込み)